

(社) 日本放射線技師会診療放射線技師基礎技術講習 「消化管撮影」北関東(埼玉県)

(社) 埼玉県放射線技師会
学術委員会理事 今出 克利

平成23年12月11日(日)、(社) 日本放射線技師会診療放射線技師基礎技術講習「消化管撮影」が大宮法科大学院大学講堂にて開催されました。

参加者82名(事前申込88名、欠席者7名、当日希望者1名)。北関東地域の開催でありながら、遠方の青森県や静岡県から参加していただいた方もおり、皆さまのおかげを持ちまして盛会に終了しました。

(社) 日本放射線技師会の学習目標にのっとり組み立てられた時間割はとても充実していて、受講生は大変だったことと思いますが、消化管検査の安全と質の向上に役立てていただけたら幸いです。

講義を担当していただいた先生方および、実行委員の方々にはこの場を借りて深くお礼申し上げます。



【時間割】(敬称略)

限	時間	分	科目	講師
1	9:30~10:15	45	X線透視装置の基礎	遠藤亜矢子((株)日立メディコ)
2	10:15~11:00	45	画質・性能評価	
3	11:10~11:55	45	被ばく管理	工藤 安幸(東松山市民病院)
4	13:00~14:30	90	上部消化管撮影技術	工藤 泰(早期胃癌検診協会中央診療所)
5	14:40~16:10	90	下部消化管撮影技術	腰塚 慎二(埼玉県立がんセンター)
6	16:20~17:05	45	造影剤・鎮痙剤・下剤	福岡 幹己((株)伏見製薬)
7	17:05~17:50	45	受診者管理	今出 克利(さいたま市民医療センター)
8	18:00~18:30	30	臨床技術能力検定	

【都道府県別参加人数】

	埼玉県	東京都	千葉県	茨城県	栃木県	群馬県	長野県	静岡県	山梨県	神奈川県	青森県	総計
集計	50	12	5	4	2	2	2	2	1	1	1	82

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会放射線部会主催 第15回胃X線検査レベルアップセミナー開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会
学術委員会理事 今出 克利

平成23年12月17日(土)、さいたま赤十字病院にて胃X線レベルアップセミナーが開催されました。参加者は49名(埼玉21名、その他28名)で、残念ながら目標人数に達しませんでした。参加された受講生の皆さま方にとっては非常に有意義な講義であったことと思います。

来年度以降も消化管検査の撮影技術および読影力向上のため、埼玉開催を継続して企画していきたいと考えております。

【プログラム】

- 14:00~14:50 前壁撮影法 講師：木村 俊雄 代表世話人
 15:00~16:00 胃癌のX線像と組織構築 講師：吉田 諭史 先生
 16:00~16:30 症例グループリーディング
 16:30~18:00 症例検討会 指導：吉田 諭史 先生

【参加者】

	埼玉県	東京都	神奈川県	栃木県	群馬県	千葉県	新潟県	茨城県	総計
計	21	10	5	4	4	2	2	1	49

平成23年度 第3回救急セミナー開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会
学術委員会委員 中根 淳

平成24年1月21日（土）、さいたま赤十字病院で行われた第3回救急セミナーが無事終了しました。セミナーの参加人数は26人と多数の方に参加していただきました。

内容および講師は以下の通りです。

1. 救急救命士によるバックボードおよびネックガードに関する講演

講師：埼玉医科大学総合医療センター
高度救命救急センター・救急科 山内 一 氏

2. 頭部MR検査の読影

講師：埼玉医科大学病院 市川 隆史

3. 頭部CT検査の読影

講師：済生会川口総合病院 城處 洋輔
埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳



この救急セミナーの目的は、新人や若手技師など不安な気持ちを持って当直業務を行っている方に対して、安心して検査を行うことが出来るために実践的な知識を学んでいただく内容となっています。今回は、参加者を3班に分けグループ形式にて、講義および実習を行いました。これにより、講師の方と参加者の距離が近くなり、講義に一体感が生まれ、多くの方に明日から使える知識を持ち帰っていただけたのではないかと考えております。

最後になりますが、ご講演をしていただきました講師の皆さま、会場準備にご協力いただいた(社)埼玉県放射線技師会の皆さま、およびセミナーに参加していただいた会員の皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

第11回上部消化管検査認定講習会開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会
学術委員会理事 今出 克利

平成24年1月22日(日)、第11回上部消化管検査認定講習会が、さいたま赤十字病院にて開催されました。今回は初めての試みとして、埼玉消化管撮影研究会と共同で開催しました。

参加人数は77名。そのうち認定試験(再試験を含む)を受験される方は27名でした。

馬場保昌先生(安房地域医療センター)と大倉康男先生(杏林大学病院臨床病理部)をお招きし、上部消化管のX線診断学および病理学を分かりやすく講義していただきました。講習会のプログラムは以下の通りです。

【プログラム】

- 10:30~12:00 【(社) 埼玉県放射線技師会 上部消化管認定試験 指定講習会】
上部消化管(読影法) 講師: 馬場 保昌 先生(安房地域医療センター)
- 12:10~13:10 ランチョンセミナー
動画でルーチン検査の紹介 演者: 今出 克利(さいたま市民医療センター)
上部消化管バリウム検査のリスクマネジメント
演者: 飯山 雅巳((株)堀井薬品)
- 13:20~14:50 【(社) 埼玉県放射線技師会 上部消化管認定試験 指定講習会】
上部消化管(病理と画像) 講師: 大倉 康男 先生
(杏林大学病院臨床病理部)
- 15:00~16:00 症例検討会
症例提供: 今出 克利(さいたま市民医療センター)

終わりに、講義を担当していただいた先生方およびランチョンセミナーにご協力いただいたバリウムメーカーの方々、また会場準備や運営にお手伝いいただいた埼玉消化管撮影研究会の世話人の方々にこの場を借りて深くお礼申し上げます。

平成23年度 第3回CT認定講習会開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会
 学術委員会常任理事 富田 博信

埼玉CT認定講習会も今回で3回目を迎えました。本年度より日本X線CT専門技師認定機構が立ち上がり、その指定講習会が日本放射線技師会生涯教育事業の技師基礎講習会として、10月1日、2日に、さいたま赤十字病院講堂にて開催されました。本年度埼玉CT認定講習会は、その学習目標と照らし合わせ、足りない項目を1日で補い、従来のCT認定講習会として開催しました。

学術事業の一元化は必要と考え、今回の講習会では、日本X線CT専門技師認定機構の認定試験対策もコンテンツに組み入れました。今回の講習会は38名の参加がありました。以下にプログラムを記します。

プログラム

9:00~11:00	日本X線CT専門技師認定機構及び埼玉CT認定試験対策	富田 博信
	濟生会川口総合病院	
11:00~12:00	頭頸部 読影と正常解剖講義 (撮影法含む)	中根 淳
	埼玉医科大学総合医療センター	
13:00~14:00	救急撮影、読影講義	田中 功
	東京女子医科大学東医療センター	
14:00~15:00	胸部、腹部の読影と正常解剖講義 (撮影法含む)	萩原 芳宏
	栃木県立がんセンター	
15:00~18:30	物理特性講義 + 実習 I + 実習 II (MTF、SSPz、NPS)	
	講義担当	小林 隆幸
	北里大学北里研究所病院	
	実習	城處 洋輔
	濟生会川口総合病院	
	実習	双木 邦博
	さいたま市立病院	
	実習	志藤 正和
	濟生会川口総合病院	
	実習	河原 剛
	埼玉医科大学総合医療センター	
	実習	鈴木 佳也
	埼玉医科大学総合医療センター	

講義風景



講義は読影も含めた講義が行われました

実習風景



実習はPCを使ってMTF、NPS、SSPzの測定を行いました

平成23年度 健康長寿シンポジウム・健康づくり講演会参加報告

(社) 埼玉県放射線技師会
公益委員会理事 星野 弘

平成24年1月24日(火)、さいたま市浦和区の埼玉会館にて開催された平成23年度健康長寿シンポジウム・健康づくり講演会(埼玉県/ヘルシー・フロンティア埼玉県民会議:主催)に、本会はパネル展示団体(9団体)の一団体として参加しました。

ヘルシー・フロンティア埼玉県民会議は、埼玉県知事を会長に、平成13年度より「すこやか彩の国21プラン」の一環として進められてきました。全ての県民が生き生きと健やかに暮らせる活力ある社会の実現を目指し、「ヘルシー・フロンティア埼玉県民活動」を展開することで、県民一人一人の主體的な健康づくりを支援し、生涯を通じた健康づくりを進めることを目的としています。今年の参加団体は、県内の民間団体や企業、市町村健康・体力づくり推進協議会、行政機関など330団体です。前日に雪が降り、足元の悪い中でしたが多くの参加がありました。

本会の活動内容は、参加者からの放射線に関する質問に回答をし、私たち診療放射線技師の業務内容や地域での公益活動をパネルで紹介してまいりました。質問の内容としては、“浦和周辺の放射線の状況はどうか?”“放射線は体に残りますか?”などがありました。質問に対する答えとして、さいたま市の空間線量が原発事故以前に戻っていることや、実効半減期などの説明をして安心していただきました。

健康づくり講演会は2部構成で行われ、第1部は、「健康長寿埼玉をめざして～みんなで健康づくりを進めるために」と題して、コーディネーター(島田美喜氏:公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター副センター長)を中心にパネリスト(朝霞市、桶川市、坂戸市、吉川市、埼玉県)と会場の参加者でシンポジウムが行われました。各市の健康に対する取り組みや街づくりが紹介され、今後の取り組みと方向性について話されました。

第2部は、登山家の田部井淳子氏を迎え「人生は8合目からおもしろい～心と体の健康づくり～」と題して、健康づくり講演会が行われました。田部井氏は、女性で世界初の7大陸最高峰登頂者であり、NHKの登山入門番組なども手掛けた方です。また60歳を過ぎてからシャンソンやピアノなどにも挑戦し続け、コンサートやディナーショーまで開催してしまうパワフルな方でもあります。聴講して、その活力を分けていただくだけで健康になる心持ちでした。

最後になりますが、私たち(社)埼玉県放射線技師会は、これからも公益法人として公益業務を拡充するとともに、県民の皆さまが安心して放射線検査を受けられるよう、このような会へ積極的に参加協力し、啓発していきたいと考えます。



会場の様子



講師 田部井 淳子 氏



(社) 埼玉県放射線技師会ブース



会場にて



会場にて

(社) 埼玉県放射線技師会創立60周年記念式典・講演会・祝賀会開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会
編集・情報委員会常任理事 潮田 陽一

平成24年1月8日(日)午後2時より、プリランテ武蔵野において、(社) 埼玉県放射線技師会創立60周年記念式典が111名の参加を得て、盛大に挙行された。

記念式典では、小川会長が本会の60年を、特に最近の10年について振り返り、さらに将来の夢を語った。次に(社) 日本放射線技師会理事である本望 鎌一様より来賓のご挨拶があった。その後、今回の式典に来賓として参加された埼玉県内各医療職能団体会長の方々、大学教授(下記参照)が紹介された。

休憩後、岩崎 榮氏による『「チーム医療について」-真のチーム医療で提供する医療の質はもっと高められる-』の記念講演会が行われた。岩崎氏はNPO法人卒後臨床研修評価機構専務理事であり医師でもある。また最近はご自身が患者となられたそうで、いろいろな観点からチーム医療についての講演をされた。

祝賀会は、山岡 育雄(第7代会長)の乾杯ご発声の後、藤間 英雄(第8代会長)、(社) 埼玉県臨床工学士会会長 田中 雅巳様、元監事 小島 精一様、山本 英明(現監事)よりご祝辞をいただいた。旧知の仲間や世代の違う会員同士、また職の枠を超えた会話などで盛会のうちに幕を閉じた。

今回の記念式典と祝賀会では、随所にこの10年間で(社) 日本放射線技師会との係わりが話題にあり、激動の10年であったことがうかがえた。また(社) 埼玉県放射線技師会の公益社団法人化に向けた話題も多くあった。この10年間は10年間として心に刻み、今後埼玉県放射線技師会が、新たな立場で更なる活躍出来ることを願う一日であった。



小川会長挨拶



岩崎 榮氏



祝賀会

御来賓の方々

社団法人埼玉県臨床工学技士会会長	田中 雅巳 様	社団法人日本放射線技師会理事	本望 鎌一 様
日本医療科学大学診療放射線学科教授	中谷儀一郎 様	社団法人埼玉県看護協会常任理事	小林 典子 様
社団法人群馬県放射線技師会会長	町田 利彦 様	社団法人埼玉県臨床検査技師会副会長	神山 清志 様
社団法人栃木県放射線技師会会長	神山 辰彦 様	社団法人埼玉県理学療法士会会長	清宮 清美 様
社団法人茨城県放射線技師会会長	横田 浩 様	一般社団法人埼玉県作業療法士会会長	星 克司 様